

### 第3回 論説・編集委員懇談会 開催

平成 26 年 3 月 31 日(月)、JISA 会議室にて、「第 3 回 論説・編集委員懇談会」が開催された。

我が国経済社会における IT の重要性や、情報システムを構築・運用する情報サービス産業の役割はますます大きくなっている。しかしながら、そのことに対する国民の理解は必ずしも十分とは言えないのが現状である。

このような認識のもと、社会への情報発信の強化に向けた取り組みの一つとして、新聞社・通信社等の論説委員・編集委員にお集まりいただき、社会における IT のあり方や業界の使命・役割などについて、深い見識に基づく大所高所の議論を行っていただく場として、平成 24 年度に「論説・編集委員懇談会」を創設した。今回は 3 回目の会合であり、新聞社、通信社の論説委員、編集委員など 4 名が参加した。一方、JISA 側からは正副会長及び関係者・事務局、計 11 名が参加した。

冒頭、浜口友一会長より挨拶があり、引き続き横塚裕志副会長より今回のテーマ「社会保障・税番号制度の円滑な導入に向けて」について問題提起があった。まず、番号制度によって国民の利便性がどのように向上するのか、政府からほとんど情報が出ていないことを指摘するとともに、番号制度に関する関係者の認識の現状について、地方自治体及び民間企業等の関係者の番号制度の内容やその重要性についての認識が希薄であると述べた。このような問題意識に基づき、番号制度の円滑な導入に向けて今後行わなくてはならないこととして、「地方自治体及び民間企業における、業務及び情報システムに関する具体的な導入計画の策定」「関係政省令の制定やガイドラインの策定とその早期公開」を挙げた。また将来に向けて、民間利用検討の開始の前倒しや地方自治体情報システムの共同クラウド化を進めるべきであると指摘した。

その後はフリーディスカッションが行われ、「全体の制度設計を誰が行うのか」「推進体制のあり方」「実際に使う企業や個人の具体的要望を吸い上げる仕

組みの必要性」「省庁ごとの取組状況」「地方自治体での対応の方向性」等について意見が出された。

その後、テレワークや消費増税へのシステム対応、パソコンやスマートフォン等の OS・ソフトのバージョンアップの問題等が話題になった。

論説・編集委員懇談会は、今後とも継続的に企画・開催していく予定である。

(田畑)